

2024年度（令和6/4～令和7/3 インシデント・アクシデント報告総数）

医療事故等	レベル	報告件数
インシデント	レベル0	89
	レベル1	685
	レベル2	386
	レベル3a	275
アクシデント	レベル3b	4
	レベル4a	0
	レベル4 b	0
	レベル 5	0

レベル 3 b 以上の一括公表

1 事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2024年9月27日
患者の年代	90代
患者の性別	女性
患者の居住地	県内
発生状況・ 結果の概要	理学療法士より右大腿部が腫れていると看護師に報告あり、触ると顔をしかめ、痛いと言語あり。一般撮影・CT検査し、右大腿骨骨折が発覚。整形外科医師にて家族に説明し手術となる。
原因	肺癌の骨転移が右大腿骨にあり、骨折リスクが高かった。
再発防止策	骨転移のある患者のリハビリは、リハビリ前に整形外科にコンサルタントを依頼する旨を医局会にて周知する。

2事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2024年12月7日
患者の年代	60代
患者の性別	男性
患者の居住地	県内
発生状況・ 結果の概要	左アキレス腱断裂術後で左下肢免荷のため松葉杖使用し自室トイレに行かれていた。「バランス崩れて足を思い切り着いてしまった」と報告あり。その後より左アキレス腱周囲の痛み残存。再断裂と診断。家族に説明し手術となる。
原因	左下肢免荷で松葉杖使用、普段の移乗状態は安定していたが、転棟による環境変化があった可能性が考えられた。
再発防止策	環境整備を整える。松葉杖歩行が不安定な様子なら、尿器やPトイレを使用してもらう。

3事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2025年1月11日
患者の年代	80代
患者の性別	女性
患者の居住地	県内
発生状況・ 結果の概要	靴下のままで床頭台の前まで移動し、リハビリパンツを履き替えているとき、滑って転倒し、ナースコールされた。右腰部辺りに痛みあり、動けそうにないとのこと。ベッド柵で右下位肋骨部を打撲し圧痛あり。レントゲン撮影し右肋骨骨折と診断。腰椎MRI検査を行ったが異常無し。バストバンド装着となる。
原因	伝い歩きは安定していたため、センサー対応はしていなかった。転倒時靴下のまま、靴を履かずに歩行されていた。
再発防止策	靴を履かずに靴下のままで歩行しないよう説明。転倒の既往がある方は、離床センサーで対応する。

4事例目

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2025年2月9日
患者の年代	90代
患者の性別	女性
患者の居住地	県内
発生状況・ 結果の概要	緊急コールあり。部屋のトイレへ行こうとして、指を挟み右第1指爪の下へ指半周程度の裂傷あり。レントゲン撮影し裂創部縫合、アルフェンスシーネ固定。整形外科より右母指末節骨骨折の診断あり。家族に説明し手術となる。
原因	普段ポータブルトイレ使用しており、必要時はナースコールも押せていたことから、離床センサーは設定していなかった。ポータブルトイレ以外へ移動する時は必ずナースコールを押していただくようしっかり説明しておく必要があった。
再発防止策	排泄はポータブルトイレを使用するよう説明。ポータブルトイレ以外へ移動する場合は必ずナースコールを押すよう説明。 センサーを離床で設定する。